

Amir Tsarfati 氏 ルーマニア・ブカレストより東情勢アップデート

2018年 6月 19日公開

(日本時間 6月 20日 午前 4時 = ルーマニア時間 6月 19日 午後 10時)

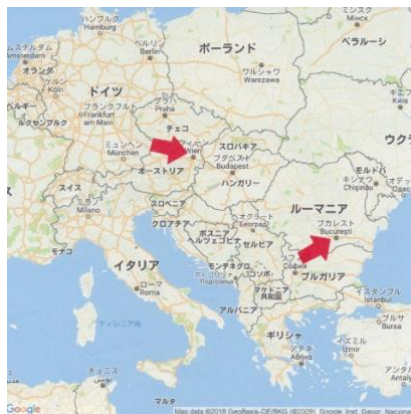


Figure 1 ウィーンとブカレストの位置

皆さん、シャローム！こんばんは。オーストリアとルーマニアでの、非常に祝福された時間を終えようとしています。

すぐに短いアップデートに入りますが、その前にお知らせを4つほど。

① まず第一に奇跡が起こりました。前回のライブで、来年の若者ツアーに向けて、ある方から奨学金10人分のご献金をいただいたことをご報告しましたが、実は、経済的に困難な人のために、20~25人分の費用を寄付していただけることになりました。ですから、奨学金をご希望の方は、

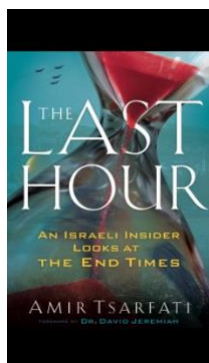
info@beholdisrael にメールして、ツアー担当の Donalee より、申請用紙をお受け取りください。これは、経済的に困難な人のためです。この基金

へのご献金も大歓迎です。次に、若者のための新しいフェイスブックページを開いたしました。「Behold Israel Young Adults」です。これからそ

のページに、今回のツアーから戻った若者たちの人生がどのように変わったか、その証を投稿していきます。これが、本当に素晴らしいのです。ご両親、祖父母の皆さん、もしくはあなた自身が若者なら、今の世の中、大学や学校で横行している、あらゆる欺きの中で、子どもたちをイスラエルに送る以上に良い事はありません。そこでイスラエルを見て、福音、聖書の真実を目の当たりにして、今の時と季節を理解することができます。魂を燃え立たせて、家に戻るのです。もしまだ洗礼を受けていないのなら、ヨルダン川での洗礼も行ないますし、毎日聖書の学びも行ないます。これは本当に素晴らしい事です。コメント欄に、フェイスブックページのリンクが出ていますので、そちらをご覧ください。「Behold Israel Young Adults」です。これは奇跡です。来年の若者ツアーに、20~25人が無料で参加できるよう、ご献金くださった方のことを、神に感謝します。来年のツアーはバス2台で、イスラエルだけでなく、南に下って紅海と、さらに国境を越えてペトラ（ヨルダン）も訪れます。若者たちに、現在のイスラエルだけでなく、ユダヤ人たちが反キリストの脅威から逃れる時に、将来イスラエルに起こる事も見せたいと思っています。ですから、そのためにご献金を下さった皆様に感謝します。

② もう一つ、約3日後の6月22日、His Channel.com で、第一回目のライブ配信を行ないます。これはインターネットのクリスチャンテレビ局です。どのぐらいの頻度になるか私たちには分かりませんが、恐らく週に一度のペースで、動画やメッセージをアップして行くと思います。ぜひ、ご覧ください。

③ 2018年9月4日、私の初めての著書が出版されます。もうすでに、オンラインでご注文いただけますが、



契約の一部に、ミニストリーで本を5,000冊購入することになっていますので、その本を、カンファレンスでも販売します。9月に行われるカンファレンスに参加を予定されている方——南カリフォルニアのカルバリーチャペル・イーストアナハイムと、カルバリーチャペル・タスティンを訪れますので、それに参加される方は、そこで本をご購入いただけます。ご希望であれば、サインもさせていただきます。それから、ワシントン州バンクーバーと、アイダホ州のコーダレイン、それと6,000人以上が訪れるミネ

Figure 2

アミールさんの初の著書

ソタ州でのジャン・マーケルさんのオリーブツリーカンファレンスに

も訪れますので、これらのカンファレンスにはたくさんの本を持っていきます。本は9月に販売開始ですから、もしまだ購入しておらず、これらのカンファレンスのどれかに参加を予定されているのなら、それまでお待ちください。そこで、直接ご購入できます。このことにも感謝しています。

- ④ 数日のうちに、新しいユーチューブチャンネルを3つ開設します。ポルトガル語、ドイツ語、ルーマニア語です。

ここから続いて、ルーマニアでのことを短くご報告します。私は、オーストリアのウィーンの後、ここに来ました。これが物凄い事で、教会が満員だったのです。皆、私のことは知りませんでした。ほとんどの人が私のメッセージを聞いたことがありませんでしたし、ほぼすべての教会で、牧師先生たちは少々懐疑的で、私が姿を見せた時、私は何者なのかよく分からないようでした。ところが、メッセージが終わると、——ところで、これは新しいルーマニアのチャンネルに投稿します——彼らは、私に「また来てほしい」と言うだけではなく、来年はルーマニアで、国全体のための預言カンファレンスを行う予定です！座席数10,000人の会場を借りて行きます。恐らく、クルジュという町です。全国で第一回目の預言カンファレンスに、ルーマニア中のクリスチャンたちを招待する予定です。また、オーストリアのウィーン、スペイン、イタリア北部、それからベルギーのブリュッセルでも行う予定です。現在、私はヨーロッパにたくさんの投資をしています。この場所は、本当に暗闇、実に反ユダヤ主義で、反キリストの霊がヨーロッパの至る所にあります。聖書には、第二テサロニケ2章にあるように、

7 不法の秘密はすでに働いています。…

(第二テサロニケ2:7a)

だから、私にとっては非常に重要なのです。これがとても興味深い事に、神がルーマニアの人々を用いておられるのです。ルーマニアの人口の15%以上が生活が困難なため、ヨーロッパの他の国に移民していて、中にはアメリカやオーストラリアやニュージーランドに行った人もいますが、とても働き者の人たちです。そしてこのルーマニア国内と、オーストリアにいるルーマニアの人々と私との繋がりを通して、さらに世界中のルーマニア人の教会に繋がり、それぞれが、それぞれの住む場所でカンファレンスを催し始めています。その上彼らは、ルーマニア語を話さない地元の教会を招待して、物凄い事になっているのです。神が、神の御言葉を広めるために、次々と扉を開いておられます。

皆さんにお伝えしたいのは、ルーマニアで私の前に立ちだかる人たちがいて、——それはオーストリアでもありましたが——ほとんどがルーマニアでした。あちらで多くの宗教の霊、多くの人たちが自分たちで義を作り上げようとしていて、安息日を守っている人たちや、他の律法や規則を守っている人たちとか、ペンテコステ派なら、異言を話さなければならない、とか、バプテスト派なら、これをしてはいけないとか、驚愕でした。教会に行くと、文字通り、女性は右側、男性は左側に座っていて、教会の中では交わり合うこともなかったり。それが、彼らの賛美の仕方は本当に素晴らしかったのです。まるで天使が歌っているようでした。彼らは、私がメッセージで何を伝えようとしているのか、それを把握するのに少し時間はかかりましたが、御言葉に非常に飢えていました。わたしはそこで、2~3時間教えたのですが、その後で牧師先生が

「私から質問しても良いですか？」

とおっしゃったので、そこにいた人たちを見ると、終わったらさっさと帰ってしまう他の国とは全然違って、この人たちは家に帰らないのか？と不思議に思ったほど、皆が残っているのです。だから、一つくらいなら、と思ったら、これが、2つ3つ4つ5つと、物凄く良い質問をしてくるのです！格別に良い時間でした。多く



Figure 3 ルーマニア・クルジュの教会にて 「終わりの憤りの時」(8:19) とあり、

の人が、何故私は大患難前携拳を信じるのかが知りたかったようです。私はその理由の全てを答えました。

そしたら、最後に、全員が私のところに来てハグしてくれて、言いました。

「私たちは、ずっとそうだと思っていたのです。ですが、あまりにも多くの人たちから惑わされて混乱していました。でも、やっとそれが正しい事と、その理由を理解することが出来ました！」

あれには、感動しました。

ダニエル書を読めば、神の御怒りの7年について伝えています。8章には、

9 神は、私たちが御怒りに会うようにお定めになったのではなく、…

(第一テサロニケ 5:9)

と言われます。それから、イエスも「ハデスの門も、私たち(教会)には打ち勝てない」(マタイ 16:18)と言われました。

しかし、見ての通り、反キリストが地上に出て来た時には、人は彼に明け渡されます。そして、彼は打ち勝ちます。ですから、大患難の間に教会がここにいることはあり得ないし、あってはならないし、いないのです。これは素晴らしい事です。もちろん、それ以前に事実、黙示録の中での大患難の描写に、教会は一度も出て来ていないのです。さらに、物凄く単純な事実を見ても、大患難の中間なら、それがいつだかははっきりと分かります。しかし携拳は、その日、その時は誰にも分かりません。ですから、ダニエル書と黙示録を正しく読むなら、大患難前携拳の教義だけが唯一、辻褄が合うのです。

ということで、オーストリアとルーマニアで多くの扉が開かれました。皆さんのお祈りに感謝します。また、ミニストリーを経済的に支えてくださってありがとうございます。その理由をお伝えしますと、彼らには、私がルーマニアに行くための費用を出すことは出来ません。ほとんどの教会が非常に貧しいのです。私は、どの教会からも一銭も受け取っていません。ホテル代も、旅費も講演料も一切請求しませんでした。だから彼らは驚いて、どうしてそんなことが出来るのか?と聞くので、私たちのミニストリーは上手く回っているから、皆さんのような場所に重荷を課さなくても済むのです、と言いました。ですから、その全てを皆さんに感謝します。そのおかげで、地元の教会が費用を負担できるかどうか気にすることなく、世界中を訪れることが出来ています。私たちは一切、価格設定はしていませんし、今後も値段をつけません。無償で与えられたのですから、無償で与えます。私は祝福するためにオーストリアとルーマニアへ行ったのですが、逆に私が祝福されて帰って来ました。本当に感動しました。

今日のアップデートでは、あと4つの件についてお話しします。

まず第一に、今日イスラエルは第3四半期の経済成長のデータを発表し、私たちイスラエルの経済は4.3%成長しました。これはヨーロッパの成長率の3倍です。イスラエルの第2四半期は4.5%でした。もし、イスラエルが税金を下げれば、5%だったでしょう。イスラエルはすでに、非常に多くの経済を追い越しており、我々のGDP(一人あたりの国内総生産)は50,000ドル近くです。これは、信じられないようなことなのです。私が伝えようとしているのはまさにこれで、これこそが嵐の前の静けさです。私たちはこれまで一度も味わっ

たことのない繁栄を味わっているのです。こんなことは、今までに一度もありませんでした！イエスの時代は、中間階級というものがなくて、人々はそれほど裕福ではありませんでしたから、「イエスの時代以来初めて」ということも出来ません。ともかく、イスラエルは、まさにエゼキエル 38 章にある通り、国々が攻め込んでかすめ奪い、略奪したいと思うほどに、繁栄しているのです。全ては略奪目的で、これはかなり凄い事です。

それ以上にイスラエル経済は順調ですが、そればかりかこの 2000 年の間で初めて、イスラエルに住むユダヤ人の数が、世界の他の地域を上回りました。つい先日、情報が発表されたばかりですが、1,450 万人のユダヤ人が世界中に住んでいて、

イスラエル在住のユダヤ人は 650 万人、

アメリカには 530 万人、

フランスには 48 万人、

カナダには 38.5 万人、

イギリスには 27 万人、

それから他の地域では 10 万人以下。驚きです。

終わりの時のしるしの一つは、イスラエルが故国に戻り、国が国家として癒されるだけでなく、人々が故国に戻る事です。ですから、これは特筆すべきことで、明らかになったこれらの事を、皆さんにもお伝えしておきたいと思いました。

次に、2 つのことについて皆さんにご説明したいと思います。

まず第一にシリアについて。

2 日前の晩、イラクから国境を越えてシリアの南部に向かう途中の大きな軍隊に対する攻撃が行われました。シリア軍は、この数時間の間にシリア南部、おもにダルアーという町に対する大規模な攻撃に備えています。この町は、ヨルダン国境すぐ側で、シリア内戦が始まった場所です。



Figure 4 シリア・ダルアーの位置

その町で死んだ人の葬式の最中に、誰かが政権に敵対して叫んだことから、政権が葬儀の最中に多数を殺害し、そこからこの反乱に火がつきました。政権は、何百という数の重機や大砲、戦車を蓄えて、そこに下って行こうとしました。しかし、兵士が不足していたのです。実際、私のところについ先ほど届いたニュースでは、あちらで人権がどれだけ無視されているかがうかがえますが、ヒズボラが、26 人の兵士を射殺しています。シリアの兵士ですよ！彼らが、南へ行って戦うことを拒んだら、ヒズボラが彼らの頭を撃ち抜いて、

殺害したのです。

そこで、イスラエルが約束したのは——ベニヤミン・ネタニヤフは、昨日も一昨日も、ほぼ毎日のように、「我々は、イランのシリア国内での地位確立を止める決意をしている」

と約束しています。

ちなみにシリアの国内、いたる所ですよ。シリアは、イラクからロケットを持ち込む計画をしています。その射程距離は 300~400 km で、彼らはわざわざ国境まで来なくても、向こうからそれらのロケットを発射するだけで良いのです。

しかしイスラエルはそれを許しません。

そのために、昨夜イスラエルは、兵士やロケット、装備を乗せた大部隊を攻撃しました。100人近くが死亡、その中には将官や大佐、バッシュアル・アサドの兵士も幾人が含まれていました。

皆さん、理解しておいてください。

現在、ヴラディミール・プーチンは、サッカーのワールドカップを主催中で、その間あらゆる行動を避けるように、彼はイスラエルに要請していたのです。しかしプーチンが我々にそう要請したため、イランはこの状況を利用して、

「今ならこれらのロケットを問題なく密輸出来る」

と考えました。そこでイスラエルはプーチンに伝えました。

「感謝します。私たちはワールドカップの間、喜んで静かにしています。ただ、今私たちは、何かが起こっているのを目にしているので、これに対応しなければなりません。」

ロシアはそれを了解しました。

繰り返しますが、ロシアはそれについて聞かれ、それを了解しました。

ロシアは、イランのペテン師がシリア国内にすることが気に入らないのです。

ロシアは、今の時点で、イランが現在のシリア情勢不安の原因だと思っています。

何度も言いますが「今の時点で」ですよ。

ロシアが今の時点で求めているのは、安定です。

ガスや石油を分捕るためにです。

彼らは戦いに辟易しているのです。

彼らは戦うためにシリアに来ているのではなく、略奪するためにシリアに来ているのですから。しかし、現在、これを見ている皆さん、彼らがシリアからは略奪できないとなると、誰から奪うと思いますか？

もうすでに、答えはご存知ですね？

ですから、非常に興味深い事が起こるでしょう。

事実、この24~48時間の間に、非常に面白いことになると思います。

アメリカ合衆国が、シリアにヨルダンとの国境を攻撃しないように警告しましたから。シリアはそれを計画していました。これは面白いことになると思います。

あちらで何かが起こって、エスカレートするのか？

どうなるかは、神がご存知です。

以上が、現在シリアで起こっている事です。

次に、イスラエル、ヨルダン、パレスチナ前線で起こっていることについてお話します。これが信じられないのです。

私たちの首相、ベニヤミン・ネタニヤフは、昨夜戻って来てすぐにヨルダンのアンマンに行き、王と会談しました。ところで彼は、2014年以降、会いもしなかったのですよ？彼らは、数時間の会談を持ちました。その会談というのは——よく聞いてください。

トランプの和平案への準備のためです。

その和平案に向けて、すでに動き始めているのは、私も知っています。

ジェイソン・グリーンブラット（書記注：ドナルド・トランプ政権の外交特別代表・トランプ氏経営企業の法

務責任者でもある。)と、ジャレッド・クシュナー(大統領上級顧問)がすでに、国連に伝えるため、国連事務総長(アントニオ・グテーレス)に会っています。



グリーンブラット外交特別代表(左)クシュナー大統領上級顧問(中)グテーレス国連事務総長(右)

また、サウジアラビアやアラブ首長国連邦、バーレーンやその他のアラブ諸国は、これに対するトランプ大統領の働きを全面的に支持しています。それから、事実として私が知っているのは、パレスチナ自身もこれを受け入れない限り、または少なくとも、トランプ政権と話をしなければ、自分たちは終わってしまうことを理解しています。

そこで、パレスチナが現在、なぜ激昂しているのかをご説明します。

皆、エルサレムが原因だと言います。しかし、皆さんにお伝えしますと、——ご存知の方もいらっしゃるでしょうし、そうでない方もいらっしゃると思いますが、——パレスチナにとって、エルサレムはただの言い訳に過ぎません。もっと言えば、彼らの他の計画のために、彼らが握りしめることのできる「碇(いかり)」です。それについて明確にしますと、彼らは、我々も彼らのメディアを観ていることを知りません。そして最近、彼らの大統領や他の者たちがパレスチナのメディアやニュースに多数登場していて、それがまた興味深いのですが、彼らが発言したことの一つに

「アッバース大統領は、一つの目標を達成しない限り、さらに大きな目標は達成し得ないことを理解している。」

実際、彼は次のように言っています。

「大きな目標は、一つの目標が達成されない限り、達成し得ないことは誰もが知っている。」それから、
「もしイスラエルがエルサレムから手を引き、65万人の入植者を撤退させるなら…エルサレムから始まり、そして壁を解体すれば、イスラエルはどうなるか？それは、終わりに至る。」

彼の言ったことを聞いてください。

「それは、終わりに至る。」

と彼は皆の目の前で言いました。そしてその後、彼は非常に興味深い事を言いました。

これは、パレスチナの大統領と、パレスチナ人のコメンテーターですよ？

それから彼は言いました。

「もし、『我々は、イスラエルを絶滅させたい』と言えど？それは難しすぎるし、そんな発言は政策に受け入れられない。」

さらにこう言っています。

「そのような事は、世に向かって言うてはいけない。胸の内に秘めておけ。」

大きな目標は、ただイスラエルだけでなく、イスラエル人が退き、ヨルダン川から地中海まで“パレスチナ”



Figure 5

アッバースパレスチナ大

が、パレスチナのものになることだと、全てのパレスチナ人が知っています。

そこへトランプ大統領が登場して、アッバースの足の下に敷かれたカーペットを引き剥いて言いました。

「エルサレムはイスラエルのものだ。そこは、彼らの首都だ。」

パレスチナは一体全体、どうするでしょう？

彼らにとって、それがここからユダヤ人を追い出すという、彼らの主要な目的を達成するために継続して動く時の碇、鉤だったのです。

彼らは自分たちでそう言ったのですから。

そこへトランプ大統領が現れて、彼らのすべての目標というか、碇を取り上げて、彼らの壮大な計画を全て台無しにしたのです。

皆さん、きっと前にも聞いたと思いますが、もう一回言っておきます。

彼らは、エルサレムが問題ではない事を知っています。

彼らは、エルサレムのことなど、どうでも良いのです。

正直に言うと、イスラムが存在しているこの1400年の間に、エルサレムが首都であるなら、ムスリムの指導者たちは何故、誰もそこに住まなかったのでしょうか？

彼らが住むのは、バグダッドかダマスカスです。それだけですよ。

エルサレムは、コーランには一度も出て来ていません。

彼らは、エルサレムとは一切関係がないのです。

ムハンマドがエルサレムにいたという話は、彼らが岩のドームを建設した後に始まった話です。



Figure 6 岩のドーム (A.D.691年建設)

「それなら、なぜ彼らは岩のドームを建設したんだ？」

と聞かれるなら、それは彼らがエルサレムに到着した時、ユダヤ人がそこで祈り、嘆いているのを見たからです。そこで彼らが、ユダヤ人に

「ここで何をしているのか？」

と尋ねたら、ユダヤ人たちが言ったのです。

「ここに、私たちの神殿が建っていて、私たちは神殿の崩壊を嘆いているのです。」

それで、アリー・イブン・アビー・ターリブが西暦691年にあの場所に岩のドームを建てたのです。きっとムハンマドがそこから昇天したのだろうという話が始まったのは、それから20~30年後です。つまり、岩のドームの建物と、ムハンマドの伝統とは一切関係がないのです。イスラムとも、全く関係がありません。あれは全て、ユダヤ人があそこで礼拝していた、という事実に関係しているのです。それを人々は理解せず、神殿がダビデの町に建っていたとか、ナンセンスです。ナンセンスどころではありません！私は怒りさえ覚えます！なぜかと言えば、彼ら、本を書いて皆さんからお金を撒き上げている、全てのペテン師たちは、考古学者の言葉として引用していますが、引用されている考古学者たちは、一度もそんなことは言っていない。私は、こういった考古学者たちと会っていますから。そして、私はその一人エリ・シュクロン博士と話をした時に聞いてみました。

「エリさん、彼らは自分たちの本の中で、『神殿はダビデの町にあった』とあなたが言った、と書いているよ？」

と言ったら、エリさんは

「アミールさん、彼らの思考は病んでいるよ。彼らは、『NO』という答えを決して受け入れないんだ。私はそんな事、一度も言ったことがないのに。私たちは、神殿の丘に続く南側の階段も見つけたし、私たちはあらゆる

る発見をしているよ。壁の残骸や、神殿のかけらを、神殿の丘で発見している。」

それらは、ダビデの町にはありません。ダビデの町と神殿とは、全く関係がありません。事実、ムスリムが岩のドームを建てた理由は、ユダヤ人たちが神殿の崩壊を嘆いて、そこで祈っていたからですよ。企みとか、陰謀なんてものは一切ありませんよ！そこに神殿が建っていたのですよ！私たちは、それを事実として知っています。好きなように論理を思いつくのは勝手ですが、それはデタラメです。

ただ、理解に苦しむのは、こういった“新しい論理”を思いつく人たちの95~98%は、イスラエル出身ではないのです。彼らは、この地域について何も理解していません。彼らは、どこか彼らの住む場所において、ただ座って本を書き、何億というお金を儲けて、人々を惑わしているのです。

私個人的には、神殿がどこに建っていたかなんてどうでも良い事です。

次の神殿すら、どこに建とうと私には大したことはありません。

イエスが来られて、オリーブ山に降り立つ時、——ゼカリヤ書14章によれば、私たちもイエスと一緒に来ますが、その時、オリーブ山は2つに分かれ、あの神殿の丘はドームであれ、新しい神殿が建っていたとしても、全てなくなってしまいます。第三神殿も何も、なくなるのです。

ただ、皆さん全員に思い出してほしいのは、エルサレムが本当にムスリムと一切関係ないというのは、驚く事ではありません。あれはただ、全土を乗っ取るための口実に過ぎないのですから。

ネヘミヤ記2章19~20節で、ネヘミヤは、エルサレムと、もちろん神殿も再建するために送られました。そして彼は、19節でこう言っています。

19 ところが、ホロン人サヌバラテと、アモン人で役人のトビヤ、および、アラブ人ゲシムは、

(ネヘミヤ記2:19a)

ゲシムは、アラビア出身のアラブ人という意味です。そしてアモン人とホロン人というのもまた、シリアとヨルダンの地域。ですから、シリア、ヨルダン、サウジアラビア、イスラム全域です。そこで当時、彼が言ったことを見てください。

19 これを聞いて、私たちがあざけり、私たちがさげすんで言った。

「おまえたちのしているこのことは何だ。おまえたちは王に反逆しようとしているのか。」

(ネヘミヤ記2:19b)

彼らが笑ったのは、何のことはありません。彼らは、

「お前たちは、あの地に戻るのか？」

と思ったのです。

「それは反逆のためか？」

と。そこでネヘミヤは、「違う」と言いました。「全く違う！」。

20 そこで、私（ネヘミヤ）は彼らにことばを返して言った。

「天の神ご自身が、私たちを成功させてくださる。だから、そのしもべである私たちは、再建に取りかかっているのだ。しかし、あなたがた（ホロン人、アモン人、アラブ人）はエルサレムの中に何の分け前も、権利も、記念もないのだ。」

(ネヘミヤ記2:20)

このように、聖書は非常に明確に告げています。アラブ人には、エルサレムに全く相続はありません。それをパレスチナは、彼らの壮大な策略のための、安物の口実として使っているのです。策略とは、明らかにエルサ

レムから始まって、ユダヤ人全員を西岸から追い出し、境界の壁を解体しようというもので、そのために多大なダメージが与えられています。見てください。私たちは小さな地域のガザから撤退しましたが、彼らから私たちに届くものといえば、ロケット、今は、熱い炭がついた凧です。ガザ周辺の麦畑を焼くためです。



Figure 7 ガザの凧による攻撃

彼らが言った通りのことを行なっているのを見ると、つまり、私たちを私たちの故国から追い出そうとしているのに、世にはそれが分からないのか、とても残念です。私はもう、理解しようとするのも止めました。ということで、非常に多くのことが起こるのを目にしています。

私たちがこの体から贖われて、主とお会いする日がどれほど近いのか、想像しか出来ませんが、本当に素晴らしいですね。本当に素晴らしい。

ここ、ルーマニアの人たち、この信者の人たちは本当に素敵なのです。

特に、このように生きていくのが困難な国にいる人たちは、主が、教会のために戻って来られるという希望を、物凄く鮮明に、物凄く現実的に、ひしひしと感じています。イエスこそが希望である、ということを実際に知っていれば、お金でもなく、経済や才能でもなく、私たちの希望は、主です。

使徒の働き最後の章で、訪れたユダヤ人たちにパウロが言ったように、

20 …私はイスラエルの望みのためにこの鎖につながれているのです。」

(使徒の働き 28:20b)

ですから、皆さん全員を励ましたいと思います。

世界中でさらに多くの人たちが、この祝福された希望、私たちの救い主イエス・キリストの輝かしい現れを待っています。その出来事に向けて、神が、世界中に神の人々を備えておられます。そして、神の人々がそれに対してワクワクしているのを見るのは、本当に素晴らしいです。

私が聞かれた質問の一つに、

「聖霊のバプテスマを受けている“しるし”とは何ですか？異言を話すかどうか、聖霊の有無のしるしですか？」

というのがありましたが、皆さん、異言はある人にはそうでしょうが、もし、聖霊の有無の究極の証拠が欲しいなら、

- ① 私たちが主の現れを待ち焦がれているか。
- ② 堂々と教え、声を上げるかどうか。
- ③ 神の御言葉に浸っているかどうか

です。御言葉に浸り、声を上げる。そして、主がすぐにでも戻って来られることに対して、ワクワクしているはず。私にとっては、それが聖霊を持っているかどうかの“しるし”です。

もしあなたが、聖霊を持っていないならば、あなたは主が戻って来られることに全くワクワクしないでしょうし、実際、この世を愛しているでしょう。

もしあなたが、聖霊を持っていないなら、あなたは自分が信者であることを隠すでしょう。

もしあなたが、聖霊を持っていないなら、聖書を読みもしないでしょうし、祈りもしなければ、主と時間を過ごすこともしないでしょう。

あなたにとって、それは別世界、あなたとはかけ離れたことですから。

もし、聖霊があなたのうちにあるなら、当然、それらはあなたが求める全てです。

あなたにとって、それが全てですから。

ですから皆さん、凄い事です。素晴らしい。

これから数週間後に、私は日本、オーストラリアのパス、それからニュージーランドを訪れます。私の本は9月4日発売ですから、持っていきませんが、よろしければインターネットでご購入下さい。これらの国々を訪れるのが、とても楽しみです。その後、9月に南アフリカ、それからアメリカ、カナダも訪れます。ですから、神が素晴らしい事を行なわれていて、私は超ワクワクしています。数週間のうちに、ルーマニア語、ポルトガル語、ドイツ語のユーチューブチャンネルも開設します。現在、日本語、中国語、スペイン語がありますから、英語も入れると、これで7ヶ国語になります。

皆さん、ご視聴くださりありがとうございます。

続けてお祈りください。それから皆さんのご支援に感謝します。それによって私たちは、世界中を訪れて教え、非常に多くのことが出来ているのです。現在、ミニストリーの急成長に伴って、新しいウェブサイト、アプリを作成中です。皆さんのお祈り、ご支援、全てに感謝します。

最後に、アロンの祝福で締めくくりたいと思います。

目を閉じてください。

お祈りしましょう。

	ヴェイシエメレハー		アドナーイ		イエヴァーレフハー	
	וְיִשְׁמְרֶךָ		יְהוָה		יְבָרְכֶךָ	
	..(主が)あなたを守られますように		主が		あなたを祝福し	
ヴィーフネッカー	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	ヤーエール		
וַיַּחַן	אֵלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יָאֵר		
..(主が)あなたを恵まれますように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	照らし		
シャーローム	レハー	ヴェヤーセーム	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	イッサー
שְׁלוֹם	לְךָ	וַיִּשֶׂם	אֵלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יִשָּׂא
平安を	あなたに	(主が)賜るように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	上げて

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

※ 連続して発音する場合は以下

イエヴァーレフハー アドナーイ ヴェイシエメレハー

ヤーエール アドナーイ パーナーヴ エーレーハー ヴィーフネッカー

イッサー アドナーイ パーナーヴ エーレーハー ヴェヤーセーム レハー シャーローム

24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

あらゆる理解を超える平安、唯一、平和の君から来る平安が与えられますように。テサロニケによれば、平和

の君、平和の主ご自身が、その平和をどんな場合にも、いつも私たちに与えてくださいます。

このお祈りを、主イエシュアの御名によってお捧げします。

全て、神の民は言いましょう。

アーメン。

ありがとうございました！ I love you! God bless you!

私が外に出ている間、舞台裏で一生懸命働いてくれている、私の素晴らしいチームに感謝します。皆さん全員のお祈り、ご支援に感謝します。私たちは、皆さんを本当に愛しています。神がされていることを見て、とても祝福されています。

ありがとうございます。ルーマニアのブカレストより、シャローム！ God bless you!

おやすみなさい。さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

【写真出典一覧】

ウィーンとブカレストの位置 : Google Map 矢印は書記がつけたもの

ルーマニア・クルジュの教会にて : Behold Israel Weekly Roundup: June 21, 2018 Full house at the church in Cluj! Two hour message followed by one hour of Q&A... Yet no one left their seat!

シリア・ダルアアの位置 : Wikipedia “Daraa Governorate”

グリーンブラット外交特別代表 : Wikipedia “Jason Greenblatt”

クシュナー大統領上級顧問 : Wikipedia 「ジャレッド・クシュナー」

グテーレス国連事務総長 : Wikipedia 「アントニオ・グテーレス」

アッパースパレスチナ大統領 : Wikipedia 「マハムード・アッパース」

岩のドーム : Wikipedia 「岩のドーム」

ガザの嵐による攻撃 : The Jerusalem Post Analysis: IDF trying to establish new strike for kite equation in Gaza June 20, 2018